ダイワコーポレーション 設立65周年

〝和の心〟が成長の原点

曽根 和光 社長インタビュー

そね・かずみつ＝昭和43年２月11日生まれ、48歳。東京都出身。慶大経卒。平成５年ダイワコーポレーション入社、13年専務、23年社長。

ダイワコーポレーション（本社・東京）は十月、設立六十五周年を迎えた。社員一人一人が目的を持って能動的に動き、顧客の願いを形にする質の高いサービスを提供。業界に先駆けサプリース事業を展開するなど、物流を〝クリエート（創造）することで飛躍的に業績を拡大してきた。曽根和光社長は「和を大切にし全社員が同じベクトルで進んで来たから今がある。今後もアンテナを高く張り、プラス思考で発展を続けたい」と語る。

―十月で設立六十五周年を迎えた。

曽根　長年事業を続けられたのは諸先輩、従業員、得意先のご協力のおかげ。本当に感謝しかない。尊敬する父の功会長が元気なうちに周年事業を行いたいと考え、昨年末から準備をしてきた。この十年間で会社は急成長を遂げたが、危機感もある。次のステージに向けて一致団結する機会としたい。

―設立以来守り続けてきた経営理念は。

曽根　創業者で祖父の光雄元会長が大切にしてきた〝和の心〟を守り続けてきた。前身の大和実業は「和を以って実を成す」が由来。取引先・関係者への感謝の強さは当社の特徴で、経営理念は全社員に徹底している。

丸紅で経験積む

―入社前は総合商社の丸紅で経験を積んだ。

曽根　三年間、大阪本社で塩化ビニールなどの仕入れ、販売を担当。先輩からは、どんな仕事にも通じる「仕入れなくして販売はない」とたたき込まれた。取引先は国内外の大企業から中小零細まで幅広く、数多くの出会いが経験となった。経営の上で大切なことも学ばせてもらった。

―大切なこととは。

曽根　新入社員時代の丸紅シンクタンクの所長との出会いが一つ。当時は瀋岸戦争が起こるといわれた時期。国内で判断が分かれる中、勇気を出して所長に話し掛け、開戦の情報をいち早くつかんだ。結果、石油関連商品の在庫を手厚くし、会社に貢献できた。社員にはアンテナを高く張るよう伝え続けている。

―平成五年のダイワコーポレーション入社当初、戸惑いもあった。

曽根　入社当時の売上高は二十五億円で従業員も五十人ほど。知名度は決して高いとは言えず、商社との環境の違いに戸惑いもあった。だが前向きに会社を成長させようとする仲間の存在が励みになった。これまで築き上げた基盤を守りつつ、事業拡大のためにさまざまな取り組みを進めた。

―まず何を。

曽根　全社員に協力会社をトワークを構築する契機となった。

―協力会社は重要なパートナー。

曽根　仕事が増えても協力会社の力がなければ対応は難しい。取引先やネットワークを広げることができれば商機は拡大する。協力会社に業務委託する際は必ずこちらから赴き、相手がプラス思考の会社なのかを確認している。

社員の意識改革を徹底

志一つに 業績急拡大

独自の経営哲学

―プラス思考は経営の重要なポイント。

曽根　倉庫は他社との差別化が図りにくく、社員の人間力で企業の力が決まる。全員がプラス思考で同じベクトルに進まなければ大手との競争に勝ち抜けない。二十年以上、一度も新卒採用を欠かさないのはプラス思考で物事を考える人材を獲得するため。稲盛和夫氏が話すように、仕事の成果は〝考え方×熱意×能力〟で決まる。考え方がマイナスならゼロになる。

―経営哲学も独自。

曽根　大相撲で例えると「九勝六敗」の精神。勝ち続けると社員が慢心し、同業他社の競争心もあおる。挑戦した結果、敗戦の中で生まれる価値もある。失敗も寛容に受け止め、減点主義は絶対に取らない。

―目指す企業の姿は。

曽根　一人一人が能動的に提案し、高い生産レベルを追求する〝物流のプロフェッショナル化〟を目指す。スピード感あるサービスは強みだが、足りない部分も多い。コストがかかっても庫内の機械化・自動化を進め、顧客と従業員の満足度を高める投資を続ける。取引先と末長く付き合うには、生産性を向上させた分を還元する必要がある。

―現場で働く従業員にメッセージを。

曽根　百八十人の社員が日々汗をかき、頭を使い仕事をしてくれるから今がある。不断の努力に感謝している。これからもベクトルを合わせ一緒に頭張ってほしい。

人材育成へ 多様な研修

充実した教育制度はダイワコーポレーションの特徴の一つ。急速に成長を遂げる中、前期から「過去を振り返り置き忘れたものがないか確かめる」（曽根社長）取り組みを展開。研修内容をより強化し、物流のプロフェッショナル化に向けた人材育成を加速する。

同社では経験の浅い社員にも重要な仕事を任せる。例えば〝和く和くプロジェクト〟＝写真＝では、入社三年以内の社員が新卒採用説明会、倉庫見学会を企画・運営。物事を能動的に考え、行動する人材の基盤をつくる。

主任クラスの管理者養成研修では、受講者が事前合宿に参加後、合宿で定めた目標を毎日確認しつつ、半年間の通信教育でさまざまな課題を消化。最終合宿に合格すると卒業に至る。積極的で前向きなアプローチができる人材の育成に向け、前期から新たにリーダーシップ研修を導入した。

また今期は営業部と各営業所の担当者を対象に、３PLマスター研修も開始。数字を裏付けながら提案できる人材を育てることで、本社と共に現場レベルでの営業体制強化につなげる。

長年厳しい教育を継続した結果、「取引先から従業員の質が高いと評価を受けている」と曽根社長。成功の秘けつは人づくりにある。

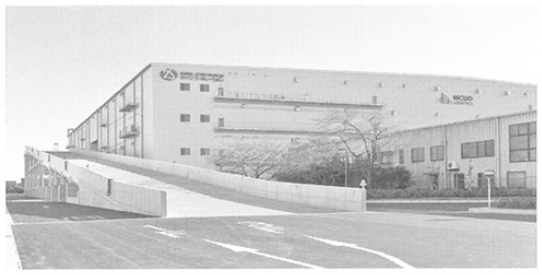
昭和二十六年、ダイワコーポレーションは前身である大和実業の設立により誕生した。曽根功会長を中心に地域密着型の高品質なサービスを展開し、顧客の信頼を獲得。家電、食品など取引先の拡大に合わせて拠点整備を進め、業績を着実に伸ばした。

経営のかじを大きく切ったのは一九九〇年代後半。業界の競争が激化する中、目指したのは物流を能動的に創造する〝物流CREATOR〟としての道だった。顧客への改善提案を定着させるため、毎年新卒社員を採用し若い血を大胆に取り入れた。長年の基盤を守りつつ時代の先を見越した戦略を打っていった。

一例が同業者のネットワークを活用し、顧客ニーズに合った倉庫を提案するサプリース事業だ。倉庫は自社拠点で仕事を完結することが基本。一昔前は施設だけを貸すことに抵抗感が強かった。それでも「他社との差別化を図るには、顧客の求めるサービスを提供する必要があった」と曽根和光社長。

その後はサプリース事業を進化させ、他社が同社専用に開発した大型倉庫を長期間借り上げるモデルを構築。船橋南海神第1営業所（千葉県船橋市）を筆頭に拠点整備を続け、昨年も同社最大級の横浜本牧営業所（横浜市）を立ち上げた。

創造が生んだ事業発展



近年は開発型サプリースを積極的に手掛ける（写真は横浜本牧営業所）

「大手不動産、外資系企業の将来的な参入を想定し、その中で勝負するために大型倉庫を構えた。会長が金融機関との信頼を深め、手厚い支援を受けられたことも大きかった」（曽根社長）。

消費者向け物流の成長にもいち早く着目し、五年前には通販特化型の営業所を創設する。入出庫、保管、流通加工業務に加え、商品の撮影、ホームページのアップなどを行うフルフィルメント事業を手掛ける。「物流周辺業務は何でも仕事になる。これが顧客の願いを形にする、ノーと言わない経営につながった」（曽根社長）。

ソフトとハードの融合による会社は急成長。平成二十八年三月期の売上高は百十二億円と十五年前の三・五倍に。今期は前期比一六・一％増の百三十億円を目標とする。

一層の成長に向け、同社は今後事業エリアの拡大を推進していく。その一環として阪南倉庫と業務提携。来春をめどに、ダイワコーポレーションが受託した関西地区の業務を、阪南倉庫が運営する取り組みが始まる。「東西で分散型在庫を求める顧客は多い。倉庫業青年経営者協議会の全国ネットワークを活用できることも強み」（同）。

将来的には、東南アジアへの駐在員事務所の設置も検討。M&A（企業の合併・買収）を通じて定温物流など必要なノウハウを取得し、さらなるサービスの向上を目指す。

沿革

昭和26年	資本金200万円にて、大和実業を設立
30年	運輸省の営業倉庫の許可を受ける
54年	代表取締役社長に曽根功氏就任
62年	現住所に曽根ビルしゅん工、本社移転
平成元年	CI(※)導入・ダイワコーポレーションに社名変更
13年	国際品質規格ISO9002認証取得
15年	宅地建物取引業者免許取得（東京都知事(1)第81643号）
18年	JIS Q 15001 プライバシーマーク認証取得
22年	企業理念を刷新
23年	代表取締役会長に曽根功氏就任 代表取締役社長に曽根和光氏就任

※コーポレートアイデンティティー

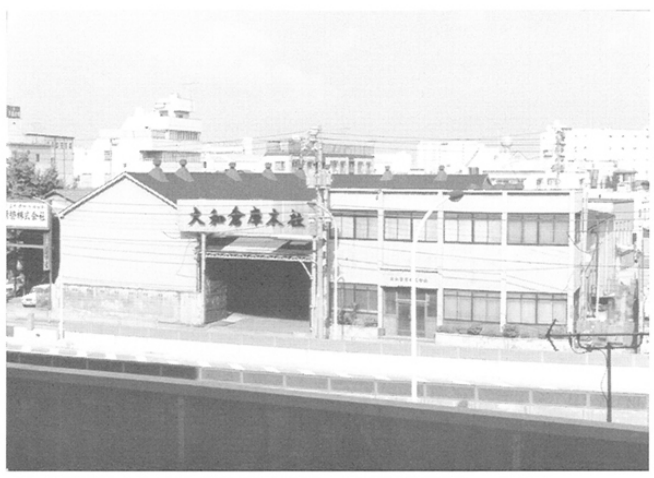
企業概要

本社	東京都品川区南大井6―17―14
設立	昭和26年10月
資本金	9000万円
拠点数	22拠点
総所管面積	約537,900㎡
従業員数	180人（パート含む）
事業内容	普通倉庫業、倉庫施設などの賃貸業、ビル賃貸業、自動車運送取扱事業、損害保険取扱業、不動産業、輸出入貨物取扱業、宅地建物取引業東京都知事(3)第81643号
売上高	112億円（平成28年3月期）

品質方針

私たちはお客様の願いを共に実現する物流CREATORとして現状の品質レベルに満足することなくアンテナを高くしてお客様のニーズをつかみお客様に感動して頂ける最高品質の物流サービスを提供します。

DAIWA CORPORATION



1951年設立当時の本社。手前の道路は第一京浜国道。ここから歴史が刻まれていきました。

始まりは、1951年でした。

初代社長である曽根光雄が発起人となり、「大和実業株式会社」という社名で
設立されたのが今から65年前。東京都大田区大森本町の約500坪の土地に
本社倉庫兼事務所を新築して営業を開始しました。
500坪から始まった当社は現在、たくさんの方々に支えられ、
おかげさまで保管面積が16万坪を超えるまでになりました。
設立40周年にはCIと社名を一新し、50周年にはISO9002認証を取得しました。
今年65周年を迎えるダイワコーポレーションは、これからもお客様の本業特化をご支援しつつ、
新たな価値を創出してまいります。
今後ともなお一層ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

お客様の願いをともに実現する物流CREATOR